

みずほCustomer Desk Report 2023/01/12号 (As of 2023/01/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	132.40
TKY 9:00AM	132.11	1.0738	141.97	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	132.87	1.0776	142.84	1.2162	0.6894
SYD-NY Low	132.07	1.0726	141.84	1.2175	0.6925
NY 5:00 PM	132.50	1.0758	142.51	1.2102	0.6873
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,973.01	268.91	日本2年債	0.0200%	▲0.0100%
NASDAQ	10,931.67	189.04	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3,969.61	50.36	米国2年債	4.2190%	▲0.0262%
日経平均	26,446.00	270.44	米国5年債	3.6606%	▲0.0623%
TOPIX	1,901.25	20.37	米国10年債	3.5420%	▲0.0722%
シカゴ日経先物	26,550.00	265.00	独10年債	2.1810%	▲0.1175%
ロンドンFT	7,724.98	30.49	英10年債	3.4050%	▲0.1530%
DAX	14,947.91	173.31	豪10年債	3.7330%	▲0.0050%
ハンセン指数	21,436.05	104.59	USDJPY 1M Vol	14.16%	0.29%
上海総合	3,161.84	▲7.67	USDJPY 3M Vol	12.75%	0.17%
NY金	1,878.90	2.40	USDJPY 6M Vol	11.98%	0.16%
WTI	77.41	2.29	USDJPY 1M 25RR	▲1.18%	Yen Call Over
CRB指数	271.27	3.18	EURJPY 3M Vol	12.13%	0.18%
ドルインデックス	103.19	▲0.05	EURJPY 6M Vol	11.76%	0.12%

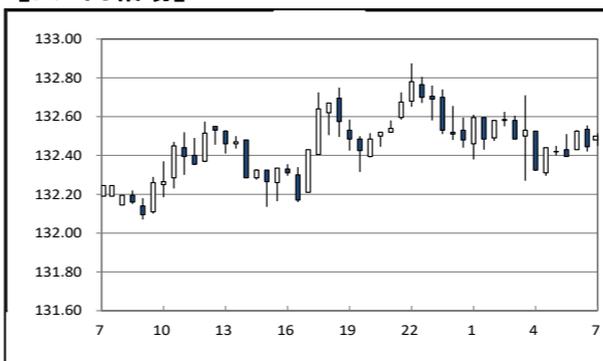
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	Event	結果	予想
1月11日	09:30	豪	小売売上高(前月比)	11月 1.4%	0.6%
	09:30	豪	CPIトリム平均値(前年比)	11月 5.6%	5.5%

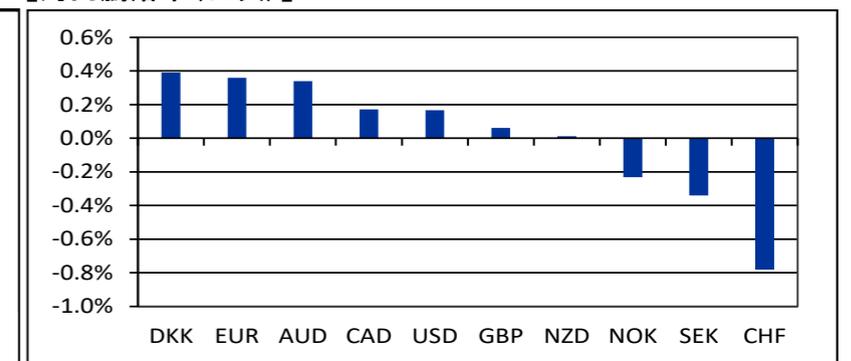
【本日の予定】

Date	Time	豪	Event	予想	前回
1月12日	09:30	豪	貿易収支	11月 A\$11300m	A\$12217m
	10:30	中	CPI(前年比)	12月 1.8%	1.6%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	12月 -0.1%/6.5%	0.1%/7.1%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	7-Jan 215k	204k
1月13日	01:30	米	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	02:40	米	ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
		米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.50-133.50	1.0700-1.0820	141.50-143.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は132.11レベルでオープン後、日株が堅調な中、円売りが優勢となり132円台半ばまで上昇、その後は米金利が低下したことで132.30近辺まで下落。海外時間に入り132円台後半まで上昇するも買い一巡後は米12月CPI発表を控えていることや米金利低下に伴い132円台半ばまで再び下落、132.50レベルでクローズ。
 本日のドル円は揉み合う展開を想定。本日に発表を控える米12月CPIの市場コンセンサスは直近発表された米平均時給が低下傾向にあることが確認されたこともあり、前回から鈍化が予想されている。そのまま出てきた場合にはドル円は小幅下落することが想定される。一方で、昨年クリスマス近辺で全米を襲ったストームの影響が大きい等、市場予想に反して米12月CPIが大幅に上振れた際の値動きには要警戒。足許市場が予想する米2月利上げ織り込みは、現在4.64%近辺など先週末以降剥落しており、利上げ織り込み加速を伴いながらのドル買いに繋がりがやすい。ただし、米国では年内に利下げが予想されていることもあり持続的な上昇にはつながりにくく、短期的な動きにとどまりやすいことも合わせて押さえておきたい。

東京	東京時間のドル円は132円台で方向感なく推移。132.11レベルでオープンするとクロス円や日経平均株価の底堅さにもサポートされ、ドル円は132.57を付ける。午後に入ると、時間外の米長期金利が低下したこともあり、オープンと同水準まで下落。その後やや値を戻すと132.34レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は132.34レベルでオープンし、材料難のなか、同レベルでもみ合いとなった。132.77レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	米CPI結果発表を明日に控え、海外市場のドル円は方向感のない推移が続くが、若干円売りが強まったことから132.87まで戻し、132.77レベルでNYオープン。主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方はドル売りが先行し132.38まで反落する。その後は132.50付近での方向感のない推移が続く。午後に入り10年債入札結果が良好でドル売りが優勢となり一旦132.27まで下落するがすぐにドル買いが持ち込まれ132.71まで戻す。終盤に掛けては明日のCPI結果発表を控え、方向感のない推移が続き、132.50レベルでクローズした。一方、ユーロもビルロッド・カロール中銀総裁の「夏までにターミナルレートに達するべき」との発言や、ホルツマン・オーストリア中銀総裁の「コアインフレはピークを打っていない」との発言が伝わるが、明日の米CPI結果を控え反応は限定的となり1.0740付近での推移が続き、1.0741レベルでNYオープン。朝方はドル売りが先行したことや、レーン・フィンランド中銀総裁が「今後の会合で大幅に利上げをする必要がある」と発言したことが伝わり、月曜に付けた直近の高値1.0760を抜け、1.0776まで上昇する。その後は調整からやや売りが強まる中、「今後2回の会合で50bpの利上げがスタート地点であるが、ハト派メンバーの中では利上げペースを鈍化させることが議論されるだろう」との関係者の話が伝わり、1.0737まで反落する。午後に入り、大きなニュースは見られなかったものの、まとまった売買が持ち込まれたのか上下する局面もあったが、その後は1.0750付近での推移が続き、1.0758レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大橋・松永